

かつて、映画はライブだった

映画が誕生したのは1895年。最初の30～40年間はフィルムに音を付ける技術がなく、映画はスクリーンの横で奏でられる生演奏と共に楽しまれていました。この時代の映画は「サイレント映画(無声映画)」と呼ばれています。「映画×ピアノ生伴奏 in 豊岡」は、そのような当時の鑑賞スタイルでサイレント映画を体験できる上映会です。サイレント映画の伴奏を専門に活動する鳥飼りょうのピアノで、かつてライブだった映画の世界をお楽しみください。

ロスト・ワールド The Lost World (1925/アメリカ/103分)



後の特撮映画に影響を与えた コナン・ドイルの『失われた世界』

英国の新聞記者マローンはチャレンジャー教授の探検隊に加わり、南米アマゾンの未開の地へ出発。その探検には行方不明になった父を探すポーラや、ロクストン卿なども帯同した。ジャングル奥深くへ進むと、そこには絶滅したはずの恐竜が生活する姿が…。原作はコナン・ドイルの『失われた世界』。ストップモーションや特殊メイクを積極的に使い、当時としては非常にリアルな「異世界と、そこに生きる生物達」を描き、大ヒットを記録。後の『キング・コング』(1933)やモンスター映画へつながる源流となった。

監督: ハリー・O・ホイット
脚本: マリオン・フェアファックス 撮影: アーサー・エディソン
出演: ロイド・ヒューズ ベッシー・ラヴ
ルイス・ストーン ウォレス・ピアリー

★クラシック作品のため見づらい部分があります。あらかじめご了承ください。

ピアノ 鳥飼りょう



サイレント映画の楽士。ピアノ、打楽器を演奏。全ジャンルの映画に即興で伴奏をつけ、これまでに伴奏した作品数は800以上。国内外の映画祭や劇場等での伴奏付き上映に多数出演している。2018年、神戸発掘映画祭でフィルムアルヒーフ・オーストリア(オーストリア国立アーカイブ)が修復した『オーラックの手』(1925)デジタル復元最新版のワールド・プレミア上映で伴奏を担当。2021年、ピアノを常設する映画館を巡る全国ツアー「ピアノ×キネマ」を開催。同年より、国立映画アーカイブ主催の「サイレントシネマ・デイズ」にも出演。定期上映としては、プラネットプラスの「映画の樹」(2015年～)、元町映画館の「SILENT FILM LIVE」(2018年～)、第七芸術劇場・シアターセブンの「アフター・リュミエール in 十三」(2021年～)でそれぞれ伴奏を担当(いずれも現在継続中)。現在、最も上映会で演奏する楽士のうちの一人として関西を中心に活動している。無声映画振興会代表。

9.8[日] 『ロスト・ワールド』 AM09:30- 生演奏付き特別料金

豊岡劇場



豊岡劇場(通称:豊劇)は、1927年に芝居小屋として始まり、社交ダンスの場、そして戦後は徐々に映画館と変化し、昭和40年代に現形の姿に。常に大衆文化の場として、周辺の地域住民に愛された続けた末に、85年の長い年月をまっとうし、2012年閉館。2014年「再び地域に文化の拠点を作りたい」との思いから(有)石橋設計が建物をリノベーションして運営を再開。映画館を応用した新しい「場」の創出を模索するも、コロナ禍の打撃を受け2022年8月に一時休館。同年9月、豊劇の未来を考える会のメンバーが「一般社団法人豊岡コミュニケーション」を設立。2023年3月、本格的に営業を再開。

【アクセス】 兵庫県豊岡市元町10-18 (豊岡駅より徒歩13分)
電話番号: 0796-34-6256 MAIL: info@toyogeki.jp

野外上映 with 豊岡演劇祭

9.7[±]19:00-/20:20-

※雨天時は翌日の同時刻に順延

【上映予定作品】

- ヴェニスの子供自動車競走 (1914/アメリカ/7分)
- サスペンス (1913/アメリカ/11分)
- キートンの案山子 (1920/アメリカ/20分)

入場無料
(投げ銭制)

四所神社 境内

兵庫県豊岡市城崎町湯島447(「御所の湯」の隣)

主催 安心★信頼
豊岡映画センター



主催 豊岡劇場